



BS/PF10H1B-CT

BS/PF15H1B-CT



取扱説明書

安全のために必ずお読みください

本書をお読みいただき正しい方法でご使用ください。誤った使用方法による危険を表すものとして下記の表示を使用しています。









 警告 誤った取り扱いをした場合に死亡や重傷などの重大な結果を伴う可能性があることを表します。	 注意 誤った取り扱いをした場合に軽傷を負うか、物的な損害が生じる可能性があることを表します。
---	---

記号の説明

	注意を促すことを表します。
	してはいけないこと（禁止）を表します。



万一異常が発生した場合は直ちに使用を止め、AC アダプター、または電源プラグを抜いて機器を安全な場所へ移動してください。異常があるまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

	斜面や不安定な場所に置かないでください。また壁面に設置する場合は確実に固定してください。落下などにより怪我の原因となります。壁面への設置方法は設置器具のマニュアルに従ってください。
	異常な発熱がある場合や、煙を発生した場合、また不自然な臭いを感じた場合は、直ちに AC アダプターをコンセントから抜いて使用を中止してください。
	破損した Micro SD カードや外部機器を本機に接続しないでください。本機の故障の原因になるだけでなく、火災や感電の原因となる場合があります。
	水に濡れた場合や内部に異物が入った場合は AC アダプターをコンセントから抜いてください。
	AC アダプターのケーブルに重いものを乗せたり、折り曲げたまま力を加えたり、強く引っ張ったりしないでください。ケーブルの断線が生じ、火災や感電の原因となります。
	裏蓋を外すなどの分解、独自の修理、改造などを行わないでください。火災、感電の原因となる場合があります。
	屋外や浴室など水がかかるおそれがある場所では使用しないでください。
	ディスプレイが破損し液晶が漏れ出した場合は、液晶が口に入らないようにしてください。飲み込むと中毒を起こす場合があります。万一口や目に入ってしまった場合は水でゆすぎ、医師にご相談ください。



注意

注意事項をよくお読みください。誤った設置方法や取り扱いによって機器に故障が生じ、火災、感電の原因となる場合があります。

	本機は屋内での使用を前提としております。屋外では使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
	ご使用の際は直射日光が当たる場所を避け、暖房器具などの熱を発するもの、火気のそばには置かないでください。
	本体背面部にあるスリット状の通気口を布やテープ、その他で塞がないでください。通気口を塞ぐと本体の温度が上がり故障の原因となります。
	本機は車載用に設計されたものではありません。継続的な振動を受け続けると故障の原因となる場合があります。
	本機を密閉された狭い場所には設置しないでください。また通気のある場所に設置してください。密閉された通気のない場所で使用すると本体の温度が上がり故障の原因となります。
	高温、湿度の高い場所、温度変化の大きい場所、または湯気、油煙にさらされる場所には設置しないでください。故障の原因となります。また結露したまま使用しないでください。
	コンセントを抜く場合は AC アダプターをしっかりと持って抜いてください。ケーブル部を引っ張って抜かないでください。
	AC アダプターはコンセントにしっかりと奥まで接続してください。
	AC アダプターが抜けかけた状態で使用しないでください。コンセントから抜けかかった状態で使用すると火災、感電の原因となる場合があります。
	本機のディスプレイ部はタッチパネルディスプレイとなっています。タッチパネル部分をペン先などの尖ったもので突いたり、強く叩いたりしないでください。破損の原因となります。

ご案内

タッチパネルのお手入れ

タッチパネルの表面が汚れた場合は、よく乾いた柔らかくきれいな布で拭いてください。汚れた布を使用して拭く、強くこするなどするとパネルを傷つける場合があります。

ドット抜け

液晶ディスプレイは精密な技術を使用して製造されておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが生じる場合があります。ドット抜けと呼ばれることもあります。これは液晶ディスプレイの特性によって生じるものであり、故障ではありません。返品や交換をお受けすることはできませんので予めご了承ください。

目次

1 同梱品.....	5
2 はじめに.....	6
3 本機の仕組み.....	6
4 BrightAuthor	7
5 ファームウェアのアップデート	8
6 各部名称.....	9
6-1 BS/PF10H1B-CT（10.1 インチモデル）	9
6-2 BS/PF15H1B-CT（15.6 インチモデル）	11
7 リモコン.....	13
8 OSD（設定メニュー）	14
9 セットアップ.....	16
9-1 Micro SD カードの差し替えによる更新	16
9-2 BrightSign Device Setup によるセットアップ	16
9-3 設定ファイルによるセットアップ	30
10 製品仕様	35

1 同梱品

本製品には下記が同梱されております。はじめに同梱品をご確認ください。

・ BS/PF10H1B-CT（または BS/PF15H1B-CT）本体	1 台
・ AC アダプター	1 個
・ リモコン	1 個
・ Micro SD カード（試供品）	1 個
・ Micro SD カードスロットカバー	1 個
・ GPIO コネクタ（6 ピン）	1 個
・ WiFi アンテナ	1 個
・ LAN ケーブル（試供品・ BS/PF10H1B-CT のみ付属 ）	1 本
・ 取扱説明書 兼 アフターサービス規定書（本書）	1 部

※リモコン用の電池は付属しません。リモコンを使用する際は、市販の『単 4 形電池 2 個』を別途ご用意ください。

※付属の Micro SD カード、LAN ケーブルは試供品のためサポート外になります。

※Micro SD カードスロットカバー、GPIO コネクタ、WiFi アンテナは本体に取り付けられた状態で出荷されます。

<Micro SD カードスロットカバーの取り外し>

Micro SD カードを接続する際は Micro SD カードスロットカバーを取り外す必要があります。Micro SD カードスロットカバーを固定しているネジをドライバーで反時計回りに回し、Micro SD カードスロットカバーを取り外します。



<WiFi アンテナの取り外し>

WiFi アンテナは取り外すことができます。WiFi アンテナを取り外す場合は、アンテナの根本を待ち反時計回りに回して取り外します。WiFi アンテナを取り付ける際は、WiFi-BT アンテナコネクタ（**6 各部分名称** を参照）に時計回りにねじ込んで取り付けます。

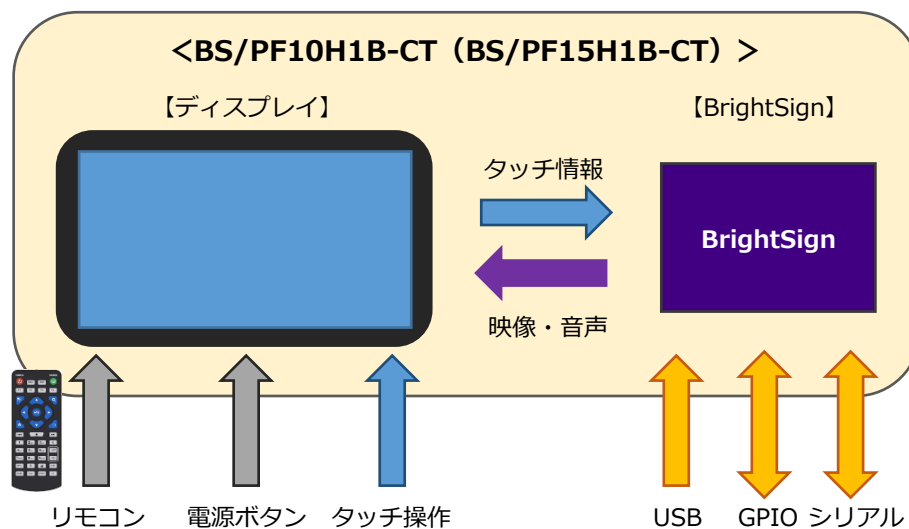
2 はじめに

本機は 10.1（または 15.6）インチのタッチパネル液晶ディスプレイにデジタルサイネージプレーヤー『BrightSign』の機能を内蔵させた『BrightSign 内蔵タッチパネルディスプレイ』です。BrightSign HD1023 相当のサイネージ機能（USB 機器、GPIO※による制御、シリアルコマンドの送受信）を有し、WiFi/Beacon モジュールを標準で搭載します。本機はタッチパネル液晶ディスプレイ部（以下ディスプレイ部）と BrightSign 部で構成されており、本書ではディスプレイ部の操作、設定に関する説明は【ディスプレイ】、BrightSign 部の操作、設定に関する説明は【BrightSign】と表記して区別します。

※本製品の GPIO は STB（セットトップボックス）型の BrightSign とは異なり 6 ピン仕様となります。
GPIO 接点は入力と出力を合わせて 4 点まで使用できます。

3 本機の仕組み

本機は【ディスプレイ】と【BrightSign】で構成されており、一部の動作については【ディスプレイ】と【BrightSign】が連動しません。例えば、本体下部の電源スイッチは【ディスプレイ】の電源のオン/オフを行うもので【BrightSign】の電源とは連動しません。下記は本機の構造、動作の連動を示したものです。



リモコン、電源ボタンは【ディスプレイ】のみを制御することができます。タッチパネルへのタッチ操作は【BrightSign】にトリガーとして送られます。【BrightSign】に入力された USB、GPIO、シリアル的外部トリガーは【BrightSign】の制御のみに使用されます。例えばシリアルコマンドで【ディスプレイ】の制御を行うことはできません。GPIO、シリアル制御ではトリガーの入力のみならず出力も可能で、LED の点灯、シリアルコマンドの送に対応します。【BrightSign】からは映像、音声の情報が【ディスプレイ】に送られ、【ディスプレイ】にて映像表示、音声出力を行います。

4 BrightAuthor

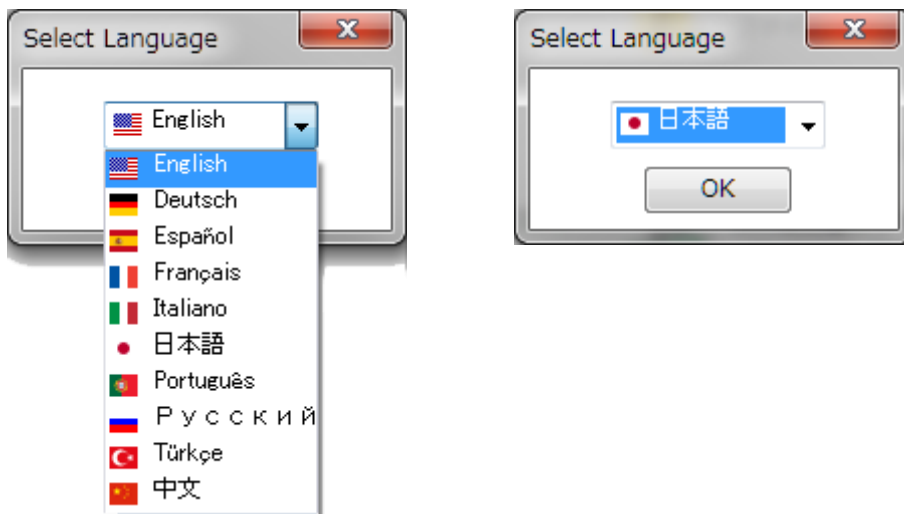
【BrightSign】で何をどのように再生させるのかは、専用のオーサリングソフトウェア『BrightAuthor（ブライトオーサー）』を使用して設定します。BrightAuthor の設定の詳細については、BrightAuthor のマニュアルをご参照ください。本書では BrightAuthor で設定する際のポイント、及び BrightAuthor で“書き出し”したファイルを本機で受け取るためのセットアップ方法について説明します。

<BrightAuthor のインストール>

下記の弊社 Web サイトより BrightAuthor のインストーラーをダウンロードし、デスクトップなどに保存します。

<https://www.jmgs.jp/download/software/BrightAuthor.4.6.0.18.setup.exe>

ダウンロードした“BrightAuthor.4.6.0.18.setup.exe”をダブルクリックしてインストールを進めます。Select Language ではユーザーインターフェース (UI) の言語を 10 ヶ国語から選択することができます。“日本語”を選択することで日本語表示に対応します。



<BrightAuthor 設定のポイント>

- ・ **BrightSign のモデル名** : 新規プロジェクト作成の際、**BrightSign モデルは HS123 を選択**します。
- ・ **画面の解像度** : BS/PF15H1B-CT (15.6 インチ・モデル) は 1920x1080x60p を、BS/PF10H1B-CT (10.1 インチモデル) は 1280x800x60p を選択します。
- ・ **音声出力の設定** : “ゾーンのプロパティ”でアナログステレオにチェックを入れると本体側面の AUDIO-OUT から出力します。また HDMI にチェックを入れ、ステレオを選択すると本体内蔵のスピーカーから音声を出力します。

5 ファームウェアのアップデート

【BrightSign】はファームウェアをアップデートすることで新しい機能の追加や特定条件で発生する問題を修正することがあります。また今後提供される新しいバージョンの BrightAuthor をインストールした際にファームウェアのアップデートが必須となる場合があります。新しい機能の追加を必要としない場合、また問題が生じていない場合はファームウェアのアップデートを行う必要はありません。**また出荷時より古いバージョンのファームウェアで上書きしないでください。**

<ファームウェアのバージョンの確認>

ファームウェアのバージョンは **Micro SD カードを接続しない状態**で AC アダプターを電源に接続し、起動させることで『BrightSign』のロゴと同時に【ディスプレイ】に表示されます。（例）v6.2.152

<ファームウェアのダウンロード>

はじめにメーカーの Web サイトより本機に対応するファームウェアをダウンロードする必要があります。本機の場合は **BrightSign DSM (HS123) 用のファームウェア**をダウンロードします。

<https://www.brightsign.biz/downloads/overview>

<ファームウェアのアップデート手順>

1. ダウンロードしたファイルは圧縮 (zip) されているので解凍します。
2. 解凍すると“brightsign_hs3_update_x.x.xxx (x.x.xxx はバージョン名)”のような名前のフォルダーになるのでこれを開きます。
3. 開いたフォルダーの中に拡張子.bsfw のファイル (ファームウェア アップデートファイル) があるので Micro SD カードにコピーします。（例）brightsign_hs3_update_x.x.xxx.bsfw
4. ファームウェア アップデートファイルをコピーした Micro SD カードを本機に接続し、AC アダプターを接続して電源を入れます。
5. 電源を入れると、Pwr LED が点灯し、Bsy LED が点滅します。その後、Err LED が連続で点滅します。
【ディスプレイ】にはアップデート中であることを表す画面が表示されます。
6. Err LED の点滅が終わるとアップデートは完了です。アップデートは通常 3 分程度で終了します。
(アップデートするファームウェアのバージョンにより、アップデートに要する時間が前後する場合があります。)
7. Micro SD カードを取り外し、RESET ボタンを押して再起動させます。
(アップデートするファームウェアのバージョンにより、アップデート完了後、自動的に再起動する場合があります。自動的に再起動した場合は、再起動後に SD カードを取り外します。)

6 各部名称

6-1 BS/PF10H1B-CT（10.1 インチモデル）

<本体上部>



①**IR（リモコン受光部）**：リモコン操作をする際はリモコンの発光部をリモコン受光部に向けます。

<本体下部>



②**Micro SD カードスロット**：Micro SD カードを挿入する際はカチッと音がするまで押し込みます。

Micro SD カードが挿入された状態で更に押し込むと、バネの力でスロットから排出されます。

③**Bsy（ビジー）LED**：Micro SD カードを読み込んでいる際に点灯、点滅します。

Pwr（パワー）LED：AC アダプターが接続され、電源が供給されると点灯します。

Wi-Fi（WiFi）LED：無線 LAN 通信中に点灯、点滅します。

Err（エラー）LED：ファイルに問題があるなどの理由で再生ができない場合に点滅します。ファームウェアアップデートの際にも連続で点滅します。

④**RESET（リセット）ボタン**：ペン先などで押すと【BrightSign】が再起動します。

⑤**SVC ボタン**：【BrightSign】の初期化を行う際に使用します。

⑥**電源（電源）ボタン**：【ディスプレイ】の電源をオン/オフします。

❗ Micro SD カードスロットに Micro SD カードを接続する際は、本機に対して真っ直ぐに、確実に接続してください。斜めに接続すると Micro SD カードが正しく接続できない場合や破損の恐れがあります。

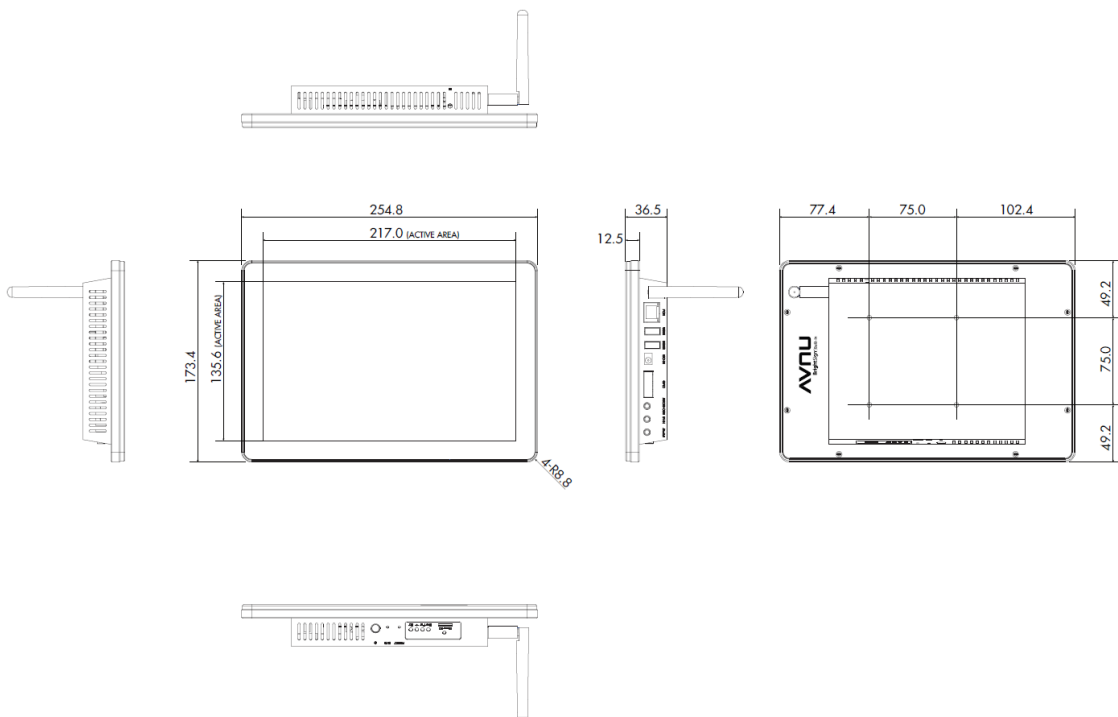
❗ Micro SD カードを取り出す際にバネの力で大きく飛び出してくる場合があります。目などに当たると怪我をする恐れがありますので Micro SD カードスロットを正面から覗き込まないでください。

<本体右側面>



- ⑦ **WiFi-BT アンテナコネクタ**：付属の WiFi アンテナを接続します。
- ⑧ **POE (LAN) ポート**：有線 LAN ポートです。PoE+にも対応します。
- ⑨ **USB ポート (x2)**：USB 機器を接続します。
- ⑩ **DC-IN**：付属の AC アダプターを接続します。
- ⑪ **GPIO ポート**：6 ピンの GPIO ポートです。入出力合わせて 4 点までの接点を使用できます。
- ⑫ **AUDIO-OUT**：3.5mm ピンジャックよりアナログステレオ音声を出力します。
- ⑬ **IR-IN**：標準機能では使用できません。
- ⑭ **Serial**：3.5mm ピンジャック RS232C ポートです。【Tip：RX、Ring：TX、Sleeve：GND ※】
 ※STB タイプの BrightSign とピンアサインが異なります。BrightSign 用オプション「BR/RS232C-015M」を使用する場合は、RS232C クロスケーブルで接続します。

<寸法図>



6-2 BS/PF15H1B-CT（15.6 インチモデル）

<本体上部>



①**IR（リモコン受光部）**：リモコン操作をする際はリモコンの発光部をリモコン受光部に向けます。

<本体下部>



②**Micro SD カードスロット**：Micro SD カードを挿入する際はカチッと音がするまで押し込みます。

Micro SD カードが挿入された状態で更に押し込むと、バネの力でスロットから排出されます。

③**Bsy（ビジー）LED**：Micro SD カードを読み込んでいる際に点灯、点滅します。

Pwr（パワー）LED：AC アダプターが接続され、電源が供給されると点灯します。


 **（WiFi）LED**：無線 LAN 通信中に点灯、点滅します。


Err（エラー）LED：ファイルに問題があるなどの理由で再生ができない場合に点滅します。ファームウェアアップデートの際にも連続で点滅します。

④**RESET（リセット）ボタン**：ペン先などで押すと【BrightSign】が再起動します。

⑤**SVC ボタン**：【BrightSign】の初期化を行う際に使用します。

⑥  **（電源）ボタン**：【ディスプレイ】の電源をオン/オフします。

 Micro SD カードスロットに Micro SD カードを接続する際は、本機に対して真っ直ぐに、確実に接続してください。斜めに接続すると Micro SD カードが正しく接続できない場合や破損の恐れがあります。

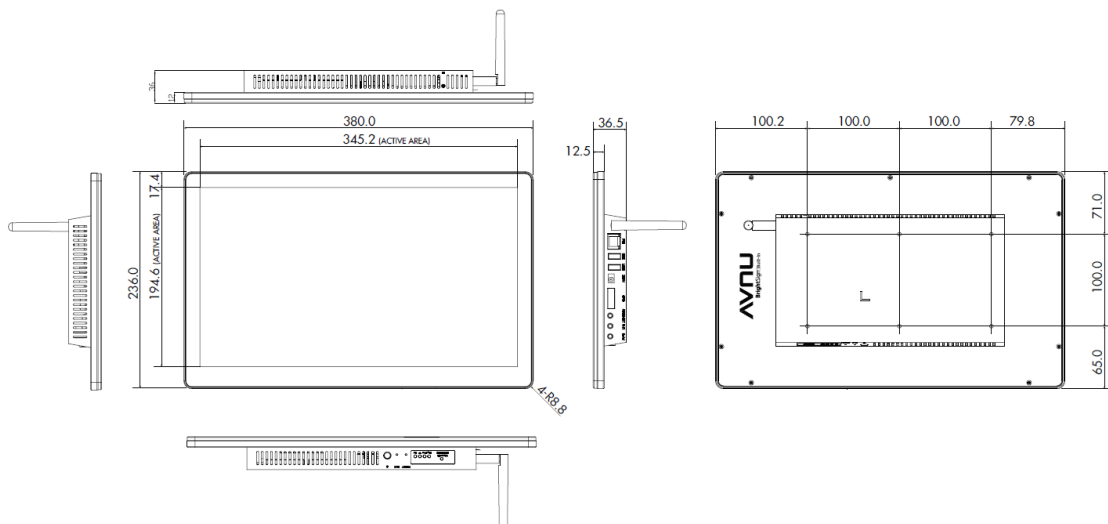
 Micro SD カードを取り出す際にバネの力で大きく飛び出してくる場合があります。目などに当たると怪我をする恐れがありますので Micro SD カードスロットを正面から覗き込まないでください。

<本体右側面>



- ⑦ **WiFi-BT アンテナコネクタ**：付属の WiFi アンテナを接続します。
- ⑧ **POE (LAN) ポート**：有線 LAN ポートです。PoE+にも対応します。
- ⑨ **USB ポート (x2)**：USB 機器を接続します。
- ⑩ **DC-IN**：付属の AC アダプターを接続します。
- ⑪ **GPIO ポート**：6 ピンの GPIO ポートです。入出力合わせて 4 点までの接点を使用できます。
- ⑫ **AUDIO-OUT**：3.5mm ピンジャックよりアナログステレオ音声を出力します。
- ⑬ **IR-IN**：標準機能では使用できません。
- ⑭ **Serial**：3.5mm ピンジャック RS232C ポートです。【Tip : RX、Ring : TX、Sleeve : GND ※】
 ※STB タイプの BrightSign とピンアサインが異なります。BrightSign 用オプション「BR/RS232C-015M」を使用する場合は、RS232C クロスケーブルで接続します。









<寸法図>



7 リモコン

付属のリモコンで【ディスプレイ】の電源のオン/オフ、表示設定や音量の変更などに対応しますが、【BrightSign】を制御することはできません。



	電源ボタン：ディスプレイの電源のオン/オフを行います。
	メニューボタン：OSD（設定メニュー）を表示します。もう一度押すと OSD が消えます。
	上下ボタン：OSD の設定項目を選択する際に使用します。
	左右ボタン：設定項目の選択、または設定値を増減させます。
	決定ボタン：上下/左右ボタンで選択した項目を決定する際に使用します。
	リターンボタン：OSD の表示を消します。OSD はメニューボタンでも消すことができます。
	ミュートボタン：ボタンを押す度にミュート（消音）とミュート解除を切り替えます。ミュート中は画面左上に“MUTE”と表示されます。
	音量ボタン：音量の上げ下げを行います。ミュート中に押すとミュートを解除します。

※上記以外のボタンは本機では使用しません。

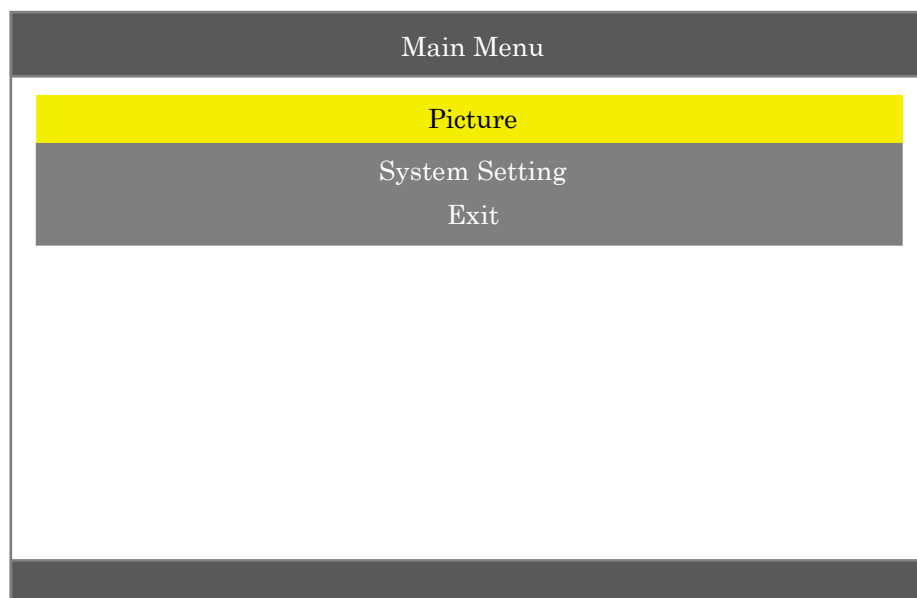


リモコンで操作をする場合は受光部にリモコンを向けます。リモコンの受光部は本体の上部にあり、IR と表記されています。

8 OSD（設定メニュー）

【ディスプレイ】OSD は付属のリモコンの MENU（メニュー）ボタンを押すとディスプレイに表示され、リモコンの操作でディスプレイの設定を変更することができます。

<Main Menu>



Picture : 映像に関する設定です。画面の明るさやコントラストなどを設定します。

System Setting : システムに関する設定項目です。

Exit : OSD メニューを終了します。

<Picture>

Picture	
Picture Mode	Standard
Brightness	50
Contrast	50
Color	50
Sharpness	50
Tint	50
Color Temperature	Medium
Return	

Picture Mode : 画面の明るさ、コントラストなどの設定がプリセットされています。左右ボタンで【Standard（初期設定）⇔ Mild ⇔ User ⇔ Dynamic】から選択します。プリセットの設定値は上下ボタンで項目を選択後、左右ボタンで変更できます。例えば“Standard”の“Brightness”を変更する場合は、左右ボタンで“Standard”を選択し、上下ボタンで“Brightness”を選んだ後、左右ボタンで数値を変更します。左ボタンを押すと数値が小さくなり画面は暗く、右ボタンを押すと数値が大きくなり画面が明るくなります。

Brightness : 画面の明るさを調整します。数値を大きくすると明るくなります。【0～100】

Contrast : コントラストを調整します。数値を大きくするとコントラストが強くなります。【0～100】

Color : 色の濃さを変更します。数値が小さいと淡く、大きいと濃くなります。【0～100】

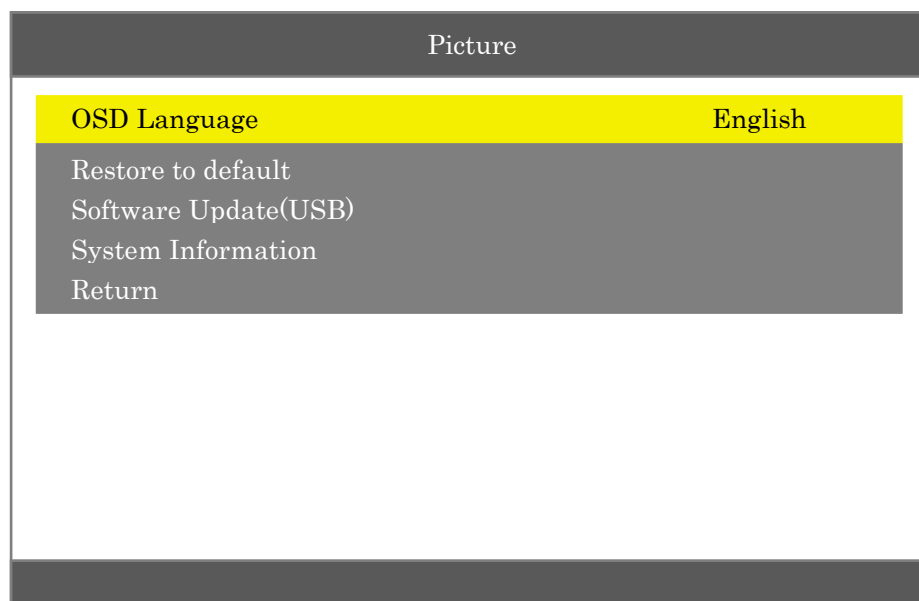
Sharpness : シャープネスを調整します。数値が大きいほど輪郭が強調されます。【0～100】

Tint : 色合いを変更します。数値を小さくすると緑が強く、大きくすると赤が強くなります。【0～100】

Color Temperature : 色温度を変更します。【Medium ⇔ Warm ⇔ User ⇔ Cool】

Return : Main Menu に戻ります。

<System Setting>



OSD Language : OSD の言語を変更します。日本語表記には未対応です。【English ⇔ 簡体中文】

Restore to default : 決定ボタンを押すと【OK】【Cancel】と表示されます。左右ボタンで【OK】を選び、決定ボタンを押すと OSD の設定が初期設定に戻ります。

Software Update(USB) : 今後、【ディスプレイ】のファームウェアアップデートに使用する可能性があります。現時点では使用しません。

System Information : 【ディスプレイ】のファームウェアのバージョンを表示します。

Return : Main Menu に戻ります。

9 セットアップ

【BrightSign】をネットワーク経由で更新する場合は更新方法に合わせたセットアップが必要です。以下の9-2、9-3 いずれかの方法でセットアップを行います。

9-1 Micro SD カードの差し替えによる更新

Micro SD カード（または USB メモリー）の差し替えによるプレゼンテーションの更新（スタンドアロンでの運用、ローカルストレージへの書き出し）を行う場合、通常は特別な設定は必要ありません。

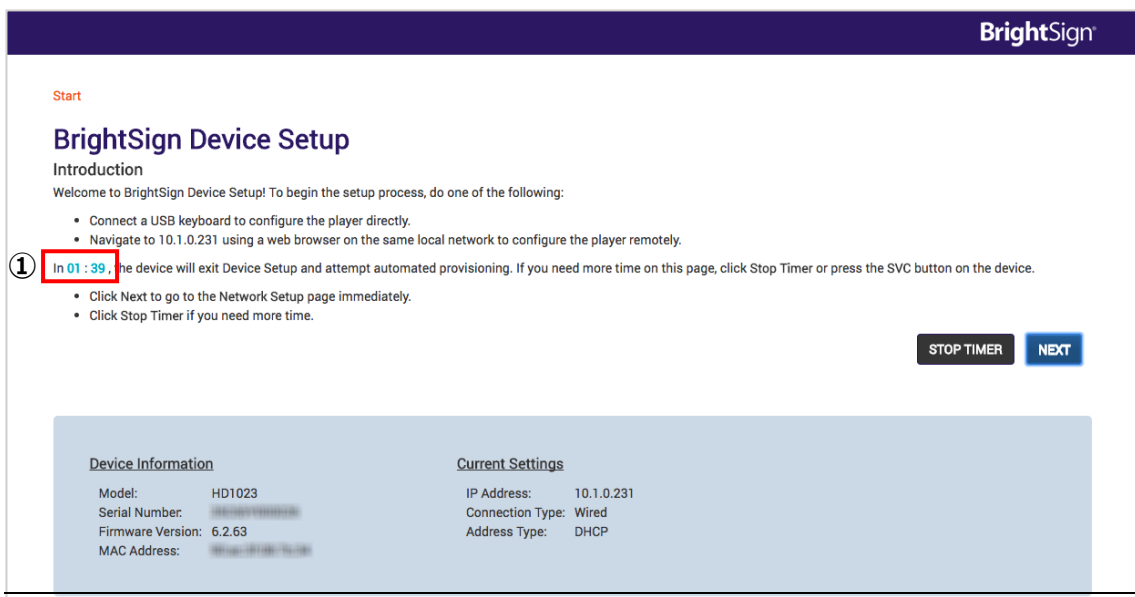
BrightAuthor で“書き出し”したファイルを Micro SD カードにコピーして、Micro SD カードを本機の Micro SD カードスロットに接続します。本機に AC アダプターを接続し、AC アダプターをコンセントに接続して電源を入れます。起動後、画面に BrightSign のロゴが表示され、その後、再生を開始します。

Micro SD カードの差し替えによる更新を行う場合で、時計合わせ等のためにネットワークへの接続が必要になる場合は9-2、または9-3 の設定を行います。

9-2 BrightSign Device Setup によるセットアップ

本機の【ディスプレイ】にセットアップメニューを表示して設定を行います。セットアップのためには USB キーボードが必要になります。USB キーボードを用意して**本機の USB1 ポート**に接続します。

1. データが書かれていない空の Micro SD カードを本機に接続します。
2. 本機に AC アダプターを接続し、AC アダプターをコンセントに接続して電源を入れます。
3. BrightSign Device Setup 画面が【ディスプレイ】に表示されます。



Device Setup 画面が表示されると 2 分間のカウントダウン (①) を始め、カウントダウンが終了すると【BrightSign】が再起動します。

STOP TIMER : カウントダウンを停止します。

NEXT : 設定に進みます。

BrightSign Device Setup
Network Setup
Select a networking option for your BrightSign device:

ETHERNET Connect to a wired network. Choose this option if you plan to publish to the device remotely or use remote assets in your presentations.

WIFI Connect to a wireless network. Choose this option if you plan to publish to the device remotely or use remote assets in your presentations.

NO NETWORKING Configure the device without networking. If you choose this configuration, the device will be setup as a Standalone device (i.e. you will publish content directly using an SD card or other storage device).

PLAY MEDIA FILES Play media files from the on-board storage (e.g. SD card) without further configuration.

BACK

Device Information		Current Settings	
Model:	HD1023	IP Address:	10.1.0.231
Serial Number:	[REDACTED]	Connection Type:	Wired
Firmware Version:	6.2.63	Address Type:	DHCP
MAC Address:	[REDACTED]		

ネットワークへの接続方法を選択します。タッチすることで次の設定項目に進みます。

ETHERNET : 有線 LAN 接続を使用してプレゼンテーションの更新を行う場合に選択します。

⇒ **(1) Ethernet Settings (有線 LAN の設定)** に進みます。

WIFI : 無線 LAN 接続を使用してプレゼンテーションの更新を行う場合に選択します。

⇒ **(3) Wireless Setup (無線 LAN の設定)** に進みます。

NO NETWORKING : ネットワーク接続を使用しない場合に選択します。Micro SD カードの差し替えによってコンテンツの更新を行う場合に選択します。

⇒ **(13) Standalone (スタンドアロンの設定)** に進みます。

PLAY MEDIA FILES : 選択すると Micro SD カード内にあるファイルを読み込み、表示を行います。

BrightAuthor を使用せずに Micro SD カードに動画や静止画をコピーして使用する場合に選択します。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

(1) Ethernet Settings (有線 LAN の設定)

Start -> Network Setup -> Ethernet

BrightSign Device Setup

Ethernet Settings

The device has connected to the local network automatically. Select Use Current Settings to use the automated configuration, or select Change Settings to manually configure network settings.

Current Settings

IP Address:	10.1.0.231
Connection Type:	Wired
Address Type:	DHCP
Subnet:	255.255.255.0
Broadcast:	10.1.0.255
Gateway:	10.1.0.1
DNS:	10.1.0.25, 10.1.0.35
Host Name:	brightsign-000000000000

BACK USE CURRENT SETTINGS CHANGE SETTINGS

有線 LAN の設定を行います。DHCP サーバーと通信可能な場合はネットワークに自動的に接続し、現在のパラメーターが **Current Settings** に表示されます。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

USE CURRENT SETTINGS : DHCP の設定を使用します。

⇒ **(5) Network Diagnostics (ネットワークの診断)** に進みます。

CHANGE SETTINGS : マニュアルで設定する場合、DHCP に接続できない場合に選択します。

⇒ **(2) Change Ethernet Settings** に進みます。

(2) Change Ethernet Settings (LAN 接続の変更)

Start -> Network Setup -> Ethernet -> Change Settings

BrightSign Device Setup

Change Ethernet Settings

IP Address

☐ Obtain an IP address automatically

☒ Use the following IP address

IP Address: 10.1.0.231

Subnet mask: 255.255.255.0

Default gateway: 10.1.0.1

DNS Servers: 10.1.0.25, 10.1.0.35

Proxy

☐ Use proxy

Time Server

☐ Set Time Server

BACK NEXT - NETWORK DIAGNOSTICS

ネットワークの設定をマニュアルで変更することができます。

IP Address

- **Obtain an IP address automatically** : DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。
- **Use the following IP address** : マニュアルで IP アドレスを設定します。チェックを入れて、IP Address (IP アドレス)、Subnet mask (サブネットマスク)、Default gateway (デフォルトゲートウェイ)、DNS Servers (DNS サーバー) のアドレスを入力します。

Proxy

- ・ **Address** : プロキシのアドレスを入力します。プロキシのユーザー名とパスワードを入力する場合は、<ユーザー名> : <パスワード> @ <プロキシサーバーのアドレス> の形式を使用します。
(例) admin : root@myproxy.com
- ・ **Port** : プロキシのポート番号を入力します。

Time Server

- **Set Time Server** : タイムサーバーを変更する場合にチェックを入れます。初期設定では BrightSign 社のタイムサーバーにアクセスして時計合わせをするように設定されています。
- ・ **URL** : タイムサーバーのアドレスを入力します。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

NEXT-NETWORK DIAGNOSTICS : 次の設定に進みます。

⇒ **(5) Network Diagnostics (ネットワークの診断)** に進みます。

(3) Wireless Setup (無線 LAN の設定)

この画面では無線 LAN の設定を行うことができます。

SSID : ドロップボックスから接続するワイヤレスネットワークの SSID を選択します。

Security Key : ワイヤレスネットワークのパスワードを入力します。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

ADVANCED: マニュアルで IP アドレス、プロキシサーバー、ホスト名等を設定する場合に選択します。

⇒ (4) **Advanced Wireless Setup (無線 LAN の詳細設定)** に進みます。

NEXT-NETWORK DIAGNOSTICS : IP アドレスを DHCP から自動取得する場合に選択します。

⇒ (5) **Network Diagnostics (ネットワークの診断)** に進みます。

(4) Advanced Wireless Setup (無線 LAN の詳細設定)

IP Address

- **Obtain an IP address automatically** : DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。
- **Use the following IP address** : マニュアルで IP アドレスを設定します。チェックを入れて、IP Address (IP アドレス)、Subnet mask (サブネットマスク)、Default gateway (デフォルトゲートウェイ)、DNS Servers (DNS サーバー) のアドレスを入力します。

Proxy

・ **Address** : プロキシのアドレスを入力します。プロキシのユーザー名とパスワードを入力する場合は、<ユーザー名> : <パスワード> @ <プロキシサーバーのアドレス> の形式を使用します。

(例) admin : root@myproxy.com

・ **Port** : プロキシのポート番号を入力します。

Time Server

○ **Set Time Server** : タイムサーバーを変更する場合にチェックを入れます。初期設定では BrightSign 社のタイムサーバーにアクセスして時計合わせをするように設定されています。

・ **URL** : タイムサーバーのアドレスを入力します。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

NEXT-NETWORK DIAGNOSTICS : 次の設定に進みます。

⇒ (5) **Network Diagnostics (ネットワークの診断)** に進みます。

(5) Network Diagnostics (ネットワークの診断)

Start -> Network Setup -> Ethernet -> Change Settings -> Network Diagnostics

BrightSign Device Setup

Network Diagnostics
Tests complete

Ethernet: OK
☐ Show details

Internet: OK
☐ Show details

Time
http://time.brightsignnetwork.com, 2016/12/20 14:35:37.327

BACK **NEXT - PUBLISHING OPTIONS**

この画面では初めに有線 LAN、または無線 LAN への接続テストを行います。接続に成功すると、続けてインターネットへの接続テストを行います。接続テストに成功した場合も失敗した場合も“Show details”にタッチすることでテスト結果の詳細な情報を確認することができます。

NEXT-PUBLISHING OPTIONS : 接続に成功した場合はタッチして次の設定に進みます。

⇒ **(6) Publishing Options (書き出しの設定)** に進みます。

BACK : 接続に失敗した場合は BACK をタッチしてひとつ前の設定画面に戻り、設定を見直します。

(6) Publishing Options (書き出しの設定)

Start -> Network Setup -> Ethernet -> Network Diagnostics -> Publishing Options

BrightSign Device Setup

Publishing Options
There are four setup options, depending on how you want to publish presentations to your devices:

BRIGHTSIGN NETWORK	Use the BrightSign Network cloud-based content-management system (CMS) to remotely schedule presentations, distribute content, assign devices to groups, and monitor the health of devices.
LOCAL FILE NETWORKING	Publish presentations and schedules to devices over your local network.
SIMPLE FILE NETWORKING	Publish presentations and schedules remotely using your own web server.
STANDALONE	Publish presentations directly to your player using an SD card or USB drive. Use this method if your player doesn't have a network connection or if you do not plan to update the presentation frequently.

BACK

プレーヤーの更新方法（プレーヤーへの“書き出し”）に関する設定を行います。

BRIGHTSIGN NETWORK : 使用しません。クラウドサービス『BrightSignNetwork.jp』の接続設定は『BrightSignNetwork.jp』に対応した BrightAuthor を使用する必要があります。この画面で接続設定を行っても『BrightSignNetwork.jp』には接続できません。(『BrightSignNetwork.jp』への接続設定は 9-3 設定ファイルによるセットアップ をご参照ください。)

LOCAL FILE NETWORKING : BrightAuthor をインストールした PC から LAN 経由でプッシュ更新する場合に選択します。

⇒ (7) Local File Networking (ローカルファイルネットワーキングの設定) に進みます。

SIMPLE FILE NETWORKING : Web フォルダー (サーバー) を利用して更新する場合に選択します。

⇒ (10) Simple File Networking (シンプルファイルネットワーキングの設定) に進みます。

STANDALONE : Micro SD カードや USB メモリーに直接“書き出し”して更新する場合 (ネットワークを使用しない場合) に選択します。

⇒ (13) Standalone (スタンドアロンの設定) に進みます。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

(7) Local File Networking (ローカルファイルネットワーキングの設定)

BrightSign

Start -> Network Setup -> Ethernet -> Change Settings -> Network Diagnostics -> Publishing Options -> Local File Networking - Device Info

BrightSign Device Setup

Local File Networking - Device Info

Device Name: ?

Customization: ☐ Use name only ☒ Append device serial ?

Device Description: ?

Time zone: ?

Firmware: ?

BACK **ADVANCED** **FINISH**

Device Info

Device Name : 本機に名前 (プレイヤー名) を付けます。半角英数字のみ使用できます。

Customization : **Append device serial** を選択すると Device Name で設定したプレイヤー名の後ろにシリアル番号を表示します。**Use name only** を選択すると名前のみ表示します。

Device Description : 機器の設置場所や表示内容などが分かるようにプレイヤーに関するメモを

入力することができます。

Time Zone : タイムゾーンを選択します。

Firmware : ファームウェアの更新に関する設定項目ですが、ここでは**必ず Current Firmware** (現在のファームウェア) を**選択**してください。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

ADVANCED : ネットワークに関するオプション設定を行います。

⇒ **(8) NETWORK & SERVER (ネットワークとサーバーの設定)** へ進みます。

FINISH : 設定を終了します。

(8) NETWORK & SERVER (ネットワークとサーバーの設定)

The screenshot shows the 'BrightSign Device Setup' interface for 'Local File Networking - Network & Server'. It features two main sections: 'Network' and 'Server'. In the 'Network' section, there is a checkbox for 'Specify Host Name'. In the 'Server' section, there are two options: 'Diagnostic Web Server' (checked) and 'Local Web Server' (unchecked). Each option has associated username and password input fields. The 'Diagnostic Web Server' fields are pre-filled with 'admin' and '35C65Y000026'. The 'Local Web Server' fields are empty with placeholder text. At the bottom right, there are three buttons: 'BACK', 'NEXT', and 'FINISH'.

ネットワークとローカルサーバーに関する設定を行います。

Network : **Specify Host Name** にチェックを入れホスト名を入力します。

Diagnostic Web Server : チェックを入れると、ダイアグノスティック Web サーバーが有効になります。Web ブラウザーに本機の IP アドレスを入力してアクセスすることで再起動や表示設定の変更、ログファイルの取得などの様々なシステム機能を実行できます。パスワードの設定も可能です。

(ユーザー名は「admin」で固定となります。)

Local Web Server: チェックを入れるとローカル Web サーバーが有効になります。Web ブラウザー、

または BrightSign App を使用してユーザー変数を変更することができます。ユーザー名、パスワードを設定して入力を求めることもできます。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

NEXT : 次の設定に進みます。

⇒ **(9) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット)** に進みます。

FINISH : 設定を終了します。

(9) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット)

The screenshot shows the 'BrightSign Device Setup' interface. At the top, a breadcrumb trail reads: 'Start -> Network Setup -> Ethernet -> Change Settings -> Network Diagnostics -> Publishing Options -> Local File Networking - Device Info -> Local File Networking - Networking & Server -> Local File Networking - Logging & Remote Snapshot'. The main title is 'BrightSign Device Setup' with the subtitle 'Local File Networking - Logging & Remote Snapshot'. Under the 'Logging' section, there are four checkboxes: 'Playback', 'State', 'Event', and 'Diagnostic', all of which are currently unchecked. Below this is the 'Remote Snapshot' section, where the 'Enable Remote Snapshot' checkbox is checked. Three input fields are present: 'Capture Interval (minutes)' set to 15, 'JPEG Quality Level (1 - 100)' set to 50, and 'Number of Snapshots to Keep on Local Storage' set to 5. There is also an unchecked checkbox for 'Display snapshots in portrait mode'. At the bottom right, there are 'BACK' and 'FINISH' buttons.

ログとリモートスナップショット機能に関する設定を行います。

Logging : チェックを入れる（外す）ことでログ機能を有効（無効）にします。

- ☐ **Playback** : 再生開始時間と終了時間、ゾーン名、ファイル名、メディアのタイプを記録します。
- ☐ **State** : タイムスタンプ、ステート名、ゾーン名、イベントタイプ、イベントデータを記録します。
- ☐ **Event** : 現在と直前のステート名、タイムスタンプ、メディアのタイプを記録します。
- ☐ **Diagnostic** : タイムスタンプ、ファームウェア、スクリプトのバージョン、現在のプレゼンテーションを記録します。

Remote Snapshot : リモートスナップショット機能を有効にします。有効にすることで本機が保存したスナップショット（スクリーンショット）を遠隔でモニタリングすることができます。

- ・ **Capture Interval (minutes)** : スナップショットを保存する間隔を設定します。単位 : 分
- ・ **JPEG Quality Level (1-100)** : スナップショットの品質を設定します。
- ・ **Number of Snapshots to Keep on Local Storage** : 保存するスナップショット数を設定します。
設定した数のスナップショットを保存すると古いものを削除し、新しいスナップショットを保存します。
- ・ **Display snapshots in portrait mode** : チェックを入れるとスナップショットをローテート (回転) させて保存します。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

FINISH : 設定を終了します。

(10) Simple File Networking (シンプルファイルネットワーキングの設定)

The screenshot shows the 'BrightSign Device Setup' page for 'Simple File Networking - Device Info'. The breadcrumb trail at the top is: Start -> Network Setup -> Ethernet -> Change Settings -> Network Diagnostics -> Publishing Options -> Simple File Networking - Device Info. The page contains the following fields:

- Device Name:** A text input field with the placeholder 'Enter a name for your device'.
- Customization:** Two radio buttons: 'Use name only' and 'Append device serial' (which is selected).
- Device Description:** A large text area for notes.
- Time zone:** A dropdown menu currently showing 'EST: US Eastern Time'.
- Firmware:** A dropdown menu currently showing 'Production Firmware (version 6.2.63)'.
- URL for web folder:** A text input field with the placeholder 'e.g., http://www.brightsign.com/files/'.

At the bottom right, there are three buttons: 'BACK', 'ADVANCED', and 'FINISH'.

Device Info

Device Name : 本機に名前 (プレイヤー名) を付けます。半角英数字のみ使用できます。

Customization : **Append device serial** を選択すると Device Name で設定したプレイヤー名の後ろにシリアル番号を表示します。**Use name only** を選択すると名前のみ表示します。

Device Description : (任意) 機器の設置場所や表示内容などが分かるように、プレイヤーに関するメモを入力することができます。

Time Zone : タイムゾーンを選択します。

Firmware : ファームウェアの更新に関する設定項目ですが、ここでは**必ず Current Firmware** (現在のファームウェア) を選択してください。

URL for web folder : 本機をアクセスさせる Web サーバー (フォルダー) のアドレスを入力します。アドレスにはスラッシュ (/) を使用しないでください。Web サーバーの仕様によりアドレス末尾の

スラッシュをサポートしない場合があります。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

ADVANCED : ネットワークに関するオプション設定を行います。

⇒ **(11) NETWORK & SERVER (ネットワークとサーバーの設定)** へ進みます。

FINISH : 設定を終了します。

(11) NETWORK & SERVER (ネットワークとサーバーの設定)

The screenshot shows the 'BrightSign Device Setup' web interface, specifically the 'Simple File Networking - Network & Server' section. The interface is divided into two main tabs: 'Network' and 'Server'.

Network Tab:

- Content check frequency:** A dropdown menu set to 'Every 5 minutes'.
- Simple file networking authentication (optional):** A section with fields for 'Username' and 'Password'.
- ☐ **Enable basic authentication**
- ☐ **Specify Host Name**

Server Tab:

- ☒ **Diagnostic Web Server**
 - Username:** admin
 - Password:** 35C65Y000026
- ☒ **Local Web Server**
 - Username:** (empty field)
 - Password:** Enter your password

ネットワークとローカルサーバーに関する設定を行います。

Network

- ・ **Content check frequency** : Web サーバーにアクセスする頻度を設定します。
- ・ **Simple File Networking Configuration** : ダイジェスト認証を使用する場合は **User Name** と **Password** を入力します。
- ・ **Enable Basic Authentication** : チェックを入れるとベーシック認証を有効にします。セキュリティで保護されていないパケットで Web サーバーに認証情報を渡します。このオプションは Web サーバーの構成によって使用が必須になる場合のみ使用します。

・ **Specify Host Name** : ホスト名を指定することができます。

Diagnostic Web Server : チェックを入れると、ダイアグノスティック Web サーバーが有効になります。Web ブラウザーに本機の IP アドレスを入力してアクセスすることで再起動や表示設定の変更、ログファイルの取得などの様々なシステム機能を実行できます。パスワードの設定も可能です。
(ユーザー名は「admin」で固定となります。)

Local Web Server : チェックを入れるとローカル Web サーバーが有効になります。Web ブラウザー、または BrightSign App を使用してユーザー変数を変更することができます。ユーザー名、パスワードを設定して入力を求めることもできます。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

NEXT : 次の設定に進みます。

⇒ **(12) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット)** に進みます。

FINISH : 設定を終了します。

(12) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット)

The screenshot shows the 'BrightSign Device Setup' interface. At the top, a breadcrumb trail reads: 'Start -> Network Setup -> Ethernet -> Network Diagnostics -> Publishing Options -> Simple File Networking - Device Info -> Simple File Networking - Network & Server -> Simple File Networking - Logging & Remote Snapshot'. The main title is 'BrightSign Device Setup' followed by 'Simple File Networking - Logging & Remote Snapshot'. Under the 'Logging' section, there are four checkboxes: 'Playback', 'State', 'Event', and 'Diagnostic', each with a help icon. Under the 'Remote Snapshot' section, there is one checkbox: 'Enable Remote Snapshot'. At the bottom right, there are two buttons: 'BACK' and 'FINISH'.

ログとリモートスナップショット機能に関する設定を行います。

Logging : チェックを入れる (外す) ことでログ機能を有効 (無効) にします。

- ☐ **Playback** : 再生開始時間と終了時間、ゾーン名、ファイル名、メディアのタイプを記録します。
- ☐ **State** : タイムスタンプ、ステート名、ゾーン名、イベントタイプ、イベントデータを記録します。
- ☐ **Event** : 現在と直前のステート名、タイムスタンプ、メディアのタイプを記録します。
- ☐ **Diagnostic** : タイムスタンプ、ファームウェア、スクリプトのバージョン、現在のプレゼンテーションを記録します。

Remote Snapshot : リモートスナップショット機能を有効にします。有効にすることで本機が保存

したスナップショット（スクリーンショット）を遠隔でモニタリングすることができます。

- ・ **Capture Interval (minutes)** : スナップショットを保存する間隔を設定します。単位 : 分
 - ・ **JPEG Quality Level (1-100)** : スナップショットの品質を設定します。
 - ・ **Number of Snapshots to Keep on Local Storage** : 保存するスナップショット数を設定します。
- 設定した数のスナップショットを保存すると古いものを削除し、新しいスナップショットを保存します。
- ・ **Display snapshots in portrait mode** : チェックを入れるとスナップショットをローテート（回転）させて保存します。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

FINISH : 設定を終了します。

(13) Standalone（スタンドアロンの設定）

Device Info

Device Name : 本機に名前（プレーヤー名）を付けます。半角英数字のみ使用できます。

Customization : Append device serial を選択すると Device Name で設定したプレーヤー名の後ろにシリアル番号を表示します。**Use name only** を選択すると名前のみ表示します。

Device Description : (任意) 機器の設置場所や表示内容などが分かるようにプレーヤーに関するメモを入力することができます。

Time Zone : タイムゾーンを選択します。

Firmware : ファームウェアの更新に関する設定項目ですが、ここでは**必ず** **Current Firmware**（現在のファームウェア）を選択してください。

BACK : ひとつ前の項目に戻ります。

ADVANCED : ネットワークに関するオプション設定を行います。

⇒ **(14) NETWORK & SERVER（ネットワークとサーバーの設定）**に進みます。

FINISH : 設定を終了します。

(14) NETWORK & SERVER（ネットワークとサーバーの設定）

ネットワークとローカルサーバーに関する設定を行います。

Network : Specify Host Name にチェックを入れホスト名を入力します。

Diagnostic Web Server : チェックを入れると、ダイアグノスティック Web サーバーが有効になります。Web ブラウザーに本機の IP アドレスを入力してアクセスすることで再起動や表示設定の変更、ログファイルの取得などの様々なシステム機能を実行できます。パスワードの設定も可能です。

(ユーザー名は「admin」で固定となります。)

Local Web Server: チェックを入れるとローカル Web サーバーが有効になります。Web ブラウザー、または BrightSign App を使用してユーザー変数を変更することができます。ユーザー名、パスワードを設定して入力を求めることもできます。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

NEXT : 次の設定に進みます。

⇒ **(15) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット)** へ進みます。

FINISH : 設定を終了します。

(15) LOGGING & REMOTE SNAPSHOT (ログとリモートスナップショット)

ログとリモートスナップショット機能に関する設定を行います。

Logging : チェックを入れる (外す) ことでログ機能を有効 (無効) にします。

☐ **Playback :** 再生開始時間と終了時間、ゾーン名、ファイル名、メディアのタイプを記録します。

☐ **State :** タイムスタンプ、ステート名、ゾーン名、イベントタイプ、イベントデータを記録します。

☐ **Event :** 現在と直前のステート名、タイムスタンプ、メディアのタイプを記録します。

☐ **Diagnostic :** タイムスタンプ、ファームウェア、スクリプトのバージョン、現在のプレゼンテーションを記録します。

Remote Snapshot : リモートスナップショット機能を有効にします。有効にすることで本機が保存したスナップショット (スクリーンショット) を遠隔でモニタリングすることができます。

・ **Capture Interval (minutes) :** スナップショットを保存する間隔を設定します。単位 : 分

・ **JPEG Quality Level (1-100) :** スナップショットの品質を設定します。

・ **Number of Snapshots to Keep on Local Storage :** 保存するスナップショット数を設定します。設定した数のスナップショットを保存すると古いものを削除し、新しいスナップショットを保存します。

・ **Display snapshots in portrait mode :** チェックを入れるとスナップショットをローテート (回転) させて保存します。

BACK : ひとつ前の設定画面に戻ります。

FINISH : 設定を終了します。

9-3 設定ファイルによるセットアップ

BrightAuthor で設定ファイルを作成して Micro SD カードにコピーし、本機に接続して読み込ませます。
本書では必須となる設定項目について説明をします。

1. BrightAuthor を起動させます。
2. ネットワーク更新の設定を有効にします。初回起動時は確認が必要です。(確認が不要な場合は 3.へ)

- ・“編集”タブを開いた状態でメニューの編集(E) > 環境設定(P)の順に開きます。
- ・“ネットワーキング”タブを開きます。
- ・使用する更新方法に応じて下記にチェックを入れます。

☐ BrightSign Network を有効にする

クラウドサービス『BrightSignNetwork.jp』を使用する場合は有効にします。別途ご契約が必要です。『BrightSignNetwork.jp』を使用するには弊社ホームページからダウンロードできる専用
の BrightAuthor を使用する必要があります。

☐ BrightSign ローカルネットワーキングを有効にする

BrightAuthor をインストールしたパソコンと BrightSign を LAN(同一セグメントのネットワーク)に接続してプッシュ形式で更新を行う場合に選択します。

☐ シンプルネットワーキングを有効にする

Web サーバー (Web フォルダー) を利用して更新を行う場合は有効にします。

3. メニューのツール(T) > BrightSign ユニットの設定 の順に開きます。
4. “BrightSign ユニットの設定”ウィンドウが開きます。設定項目を入力します。

BrightSign ユニットの設定

BrightSign ユニットの設定

名称の設定

名前:

説明:

カスタマイズ:

- ☒ 名前のみ使用
- ☐ ユニット ID を追加

ネットワークのプロパティ

☐ 無線を有効化

SSID:

セキュリティキー:

☐ パスワードを表示する

ネットワーク接続の優先順位

- ☐ 無線
- ☒ 有線
- ☐ 無線

タイムゾーン:

タイムサーバー:

ファームウェア

スプラッシュ画面

- ☒ 標準スプラッシュ画面
- ☐ カスタムスプラッシュ画面

ユニットの設定

☒ ダイアグノスティックWebサーバーを有効にする

ダイアグノスティックサーバー認証 (オプション)

ユーザー名:

パスワード:

☒ ローカル Web サーバーを有効にする

ローカル Web サーバー認証 (オプション)

ユーザー名:

パスワード:

☒ 更新通知を有効にする

- ☐ スタンドアロン
- ☒ ローカルファイルネットワーキングでネットワーク接続
- ☐ シンプルファイルネットワーキングでネットワーク接続

ログの作成

☐ 発生ログを有効にする

☐ イベントログを有効にする

☐ ステータスログを有効にする

☐ ダイアグノスティックログを有効にする

☐ 変更ロギングを使用する

ログのアップロード

☐ 起動時

☐ 特定の時刻に毎日

アップロード時刻: :

ログハンドラの相対的なURL:

リモートスナップショット (4Kx42, XDx32, XDx30, HDx22のみ)

☒ リモートスナップショットの有効化

リモートスナップショットを 分ごとに取得する。

最大 枚 (1~100) の画像をローカルストレージに保存する。

JPEG 品質レベル: (0~100)。

☐ スナップショットをポートレートモードで表示

リモートスナップショットハンドラの相対的な URL: (例: remoteSnapshotHandler.php)

RF チャンネルスキャンデータ (オプション)

画面の色

BrightSignが待機状態で表示する画面の色を選択します

ここでは必須となる項目について説明します。詳細は BrightAuthor のマニュアルをご参照ください。

<名前の設定>

名前の設定

名前:

説明:

カスタマイズ:

☒ 名前のみ使用

☐ ユニット ID を追加

名前: プレーヤーを識別するために名前を設定します。英数字で設定します。(必須入力)

説明: プレーヤーの説明を入力することができます。

カスタマイズ: “名前のみ使用”にチェックを入れると設定した名前のみを表示し、“ユニット ID を追加”にチェックを入れると、設定した名前に続けてユニット ID (シリアル番号) を表示します。

<ネットワークのプロパティ>

ネットワークのプロパティ

☐ 無線を有効化

SSID:

セキュリティキー:

☐ パスワードを表示する

ネットワーク接続の優先順位

↑ ↓ 有線

↑ ↓ 無線

詳細ネットワーク設定

タイムゾーン: JST: Japanese Standard Time ▼

タイムサーバー: <http://time.brightsignnetwork.com>

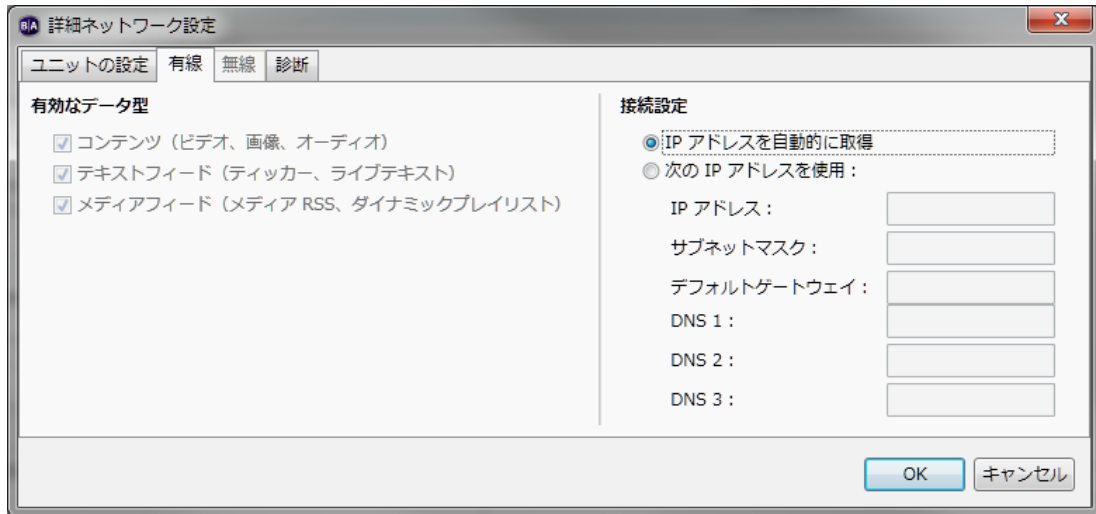
☐ **無線を有効化:** WiFi を使用する場合はチェックを入れ、SSID とセキュリティキーを入力します。

“パスワードを表示する”にチェックを入れると入力したセキュリティキーが表示されます。

ネットワーク接続の優先順位: ↑ ↓ をクリックして、有線 LAN、無線 LAN の優先順位を変更します。

詳細ネットワーク設定: クリックすると“詳細ネットワーク設定”ウィンドウが開きます。IP アドレスをマニュアルで設定する場合は“詳細ネットワーク設定”ボタンをクリックします。使用するネットワーク環境に合わせて、有線 LAN、無線 LAN の設定を行います。

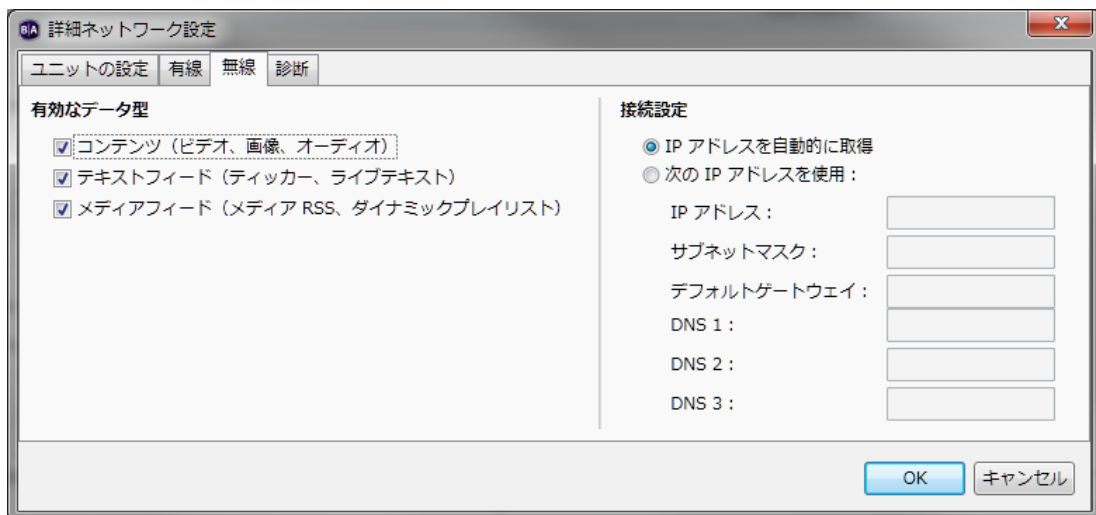
<有線タブ> 有線 LAN に関する設定を行います。設定後は“OK”をクリックしてウィンドウを閉じます。



接続設定

- **IP アドレスを自動的に取得** : IP アドレスを自動取得する場合にチェックを入れます。
- **次の IP アドレスを使用** : マニュアルで IP アドレスを設定する場合にチェックを入れます。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS を入力します。

<無線タブ> 無線 LAN に関する設定を行います。“無線を有効化”のチェックボックスにチェックが入っていないと選択することができません。設定後は“OK”をクリックしてウィンドウを閉じます。



接続設定

- **IP アドレスを自動的に取得** : IP アドレスを自動取得する場合にチェックを入れます。
- **次の IP アドレスを使用** : マニュアルで IP アドレスを設定する場合にチェックを入れます。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS を入力します。

☒ スタンドアロン

USB コンテンツ更新パスワード（オプション）

→ここでは使用しません。スタンドアロンの運用で“ユニットの設定”が必要な場合（タイムサーバーへアクセスさせて時計合わせを行う場合など）は、“書き出し”タブにて “○スタンドアロンユニット+セットアップ”にチェックを入れて設定ファイルを作成します。

☒ ローカルファイルネットワーキングでネットワーク接続

→BrightAuthor をインストールしたパソコンと BrightSign を LAN（同一セグメントのネットワーク）に接続してプッシュ形式で更新を行う場合に選択します。

☒ BrightSign Network でネットワーク接続

☒ グループ

Default

☐ BrightWall グループ

コンテンツ確認頻度： 5 分ごと

死活監視間隔： 15 分ごと

→クラウドサービス『BrightSignNetwork.jp』を使用して更新を行う場合に選択します。別途ご契約が必要です。『BrightSignNetwork.jp』を使用するには弊社ホームページからダウンロードできる**専用の BrightAuthor を使用する必要があります**。BrightSign 社のホームページで公開されている BrightAuthor では『BrightSignNetwork.jp』に接続することができません。

○ **グループ**：グループに加える場合はチェックを入れ、参加させるグループを選択します。

○ **BrightWall グループ**：BrightWall グループに加える場合はチェックを入れ、参加する BrightWall グループ、BrightWall 名、画面番号を選択します。

コンテンツ確認頻度：クラウドサーバーへのアクセス頻度を選択します。【5 分ごと、30 分ごと、1 時間ごと、6 時間ごと、12 時間ごと、24 時間ごと】より選択します。

死活監視間隔：死活監視を行う間隔を選択します。【5 分ごと、15 分ごと、30 分ごと、1 時間ごと、6 時間ごと、12 時間ごと、24 時間ごと】より選択します。

☒ シンプルファイルネットワークでネットワーク接続
 Web フォルダの URL : (例 : http://www.brightsign.com/files/)
 コンテンツ確認頻度 : 5 分ごと
 シンプルファイルネットワーク認証 (オプション)
 ユーザー名 :
 パスワード :
☐ ベーシック認証を有効にする

→シンプルファイルネットワークを使用する場合にチェックを入れます。“書き出し”したファイルを Web フォルダ (Web サーバー) にアップロードし、BrightSign を Web フォルダにアクセスさせて更新を行います。

Web フォルダの URL : アクセスさせる Web フォルダのアドレスを入力します。

コンテンツ確認頻度 : Web フォルダにアクセスしてコンテンツの更新を確認する頻度を選択します。【5 分ごと、30 分ごと、1 時間ごと、6 時間ごと、12 時間ごと、24 時間ごと】より選択します。

シンプルファイルネットワーク認証 (オプション) : ダイジェスト認証が必要な場合は、ユーザー名、パスワードを入力します。

☐ **ベーシック認証を有効にする :** チェックを入れるとベーシック認証を有効にします。セキュリティで保護されていないパケットで認証情報を渡すため、このオプションはサーバーの構成によって使用が必須になる場合のみ使用します。

設定ファイルの作成

→クリックして保存先を指定し、設定ファイルを作成します。

5. 作成した設定ファイルを Micro SD カードにコピーして本機に接続します。AC アダプターを接続して電源を入れると設定ファイルを自動的に読み込み、ネットワーク更新の待受状態になります。

10 製品仕様

型番	BS/PF10H1B-CT	BS/PF15H1B-CT
画面サイズ	10.1 インチ	15.6 インチ
画面解像度	1280 x 800	1920 x 1080
最大輝度	350cd/m ²	300cd/m ²
視野角	178° x 178°	
内蔵スピーカー	1.5W x2	
I/O ポート	・ LAN ポート (PoE+対応) x 1 ・ 3.5mm ピンジャック・オーディオ x 1 ・ USB 2.0 x 2 ・ GPIO ポート (6 ピン) x 1 ・ 3.5mm RS232 シリアルポート x 1 ・ 3.5mm IR In/Out x 1	
Micro SD 最大容量	2TB	
VESA マウント	75 x 75 (mm)	100 x 100、100 x 200 (mm)
AC アダプター	12V/2A	
動作環境温度/保管環境温度	5~40℃/-20~50℃	
動作環境湿度/保管環境湿度	10~85% (結露なきこと) / 5~95% (結露なきこと)	
本体サイズ	254.8 x 173.5 x 36 (mm)	380 x 236 x 36 (mm)
本体重量	1,35kg	2,5kg
ビデオエンジンデコード	1x1080 60p	
対応ビデオコーデック	H.265, H.264(MPEG4,Part10), MPEG-2, MPEG-1	
対応ビデオコンテナ	.ts/.mpg/.vob/.mov/.mp4/.m2ts/.wmv (※1)	
静止画	BMP/JPEG/PNG	
オーディオ	MP2/MP3/AAC/FLAC/OGG/WAV (AC3 パススルー)	
対応機能	・ H.265 デコーディング ・ ハードウェア HTML5 エンジン ・ BrightBeacon ・ BrightWall (同期再生) ・ Zone 分割 ・ Mosaic モード (最大表示解像度までの複数動画再生) ・ IP ストリーミング再生 ・ ローカルデータをストリーミング配信 ・ インタラクティブ (GPIO, USB, シリアル, IR) ・ Live Feed (Live Data, Live Text, MRSS, RSS, Twitter, Flickr) ・ Bright Tagging (※2) ・ Bright App : iOS ・ GPS 対応 ・ Sign Preview ・ Remote Snapshot ・ Bright Plates ・ ネットワーク配信 ・ B-deploy (※2)	

※1 PowerPoint「ビデオ作成」で出力された WMV のみ (音声はサポートしません)

※2 BrightSignNetwork.jp の加入が必要です。